

2022(令和 4)年度入学試験問題

国 語

(注意) 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

盈 進 中 学 校

一 次の _____ 線部の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。

- ① 暑くて氷がとける。
- ② 大豆を畑で育てる。
- ③ 友人の車に便乗する。
- ④ 潔く責任を認める。
- ⑤ おだやかな口調で話す。
- ⑥ 旅先で土産を買う。
- ⑦ 新聞紙をひもで束ねる。
- ⑧ くわしい説明を省く。
- ⑨ この時計は細工が美しい。
- ⑩ 波止場に立って船を見る。
- ⑪ シアワセな人生を送る。
- ⑫ 問題の解決にツトめる。
- ⑬ なべがおいしいキセツ。
- ⑭ 君がおこるなんてイガイだ。
- ⑮ クラス会にオンシをまねく。
- ⑯ 木のネンリンを観察する。

- ⑰ 銀行にヨキンする。
- ⑱ 作品を会場にテンジする。
- ⑲ トンネルの開通をイワう。
- ⑳ 駅までオウフクする。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

雪でどう冷やすか？

雪の冷たいエネルギーを使い、農作物などの食品を冷やして保管しておくのは「雪冷蔵」です。一方、人が過ごす空間を冷やすのは「雪冷房」です。冷蔵は鮮度を維持するのに必要な約〇〜五度にする必要があります、冷房は私たちが涼しいと感じる約二五〜二八度にするという違いはありますが、基本的な仕組みは同じです。ここではその仕組みについて説明しましょう。

まず、雪で冷やすには、「自然対流式」「空気循環式」「冷水循環式」の三つの方法があります。

自然対流式は、昔ながらの **a** スタイルです。雪をためる雪室と、食品を貯蔵する部屋の間には簡単な仕切りがあり、同じ空間の中に食品を保存します。冷たい空気は下に、暖かい空気は上に流れる性質を利用するので、人の手はほとんど加えません。食品にとって乾燥は大敵ですが、雪はもともと水からできているので、みずみずしく保存できます。

空気循環式は、雪室の冷たい空気を送風機でそのまま部屋に送り込み、冷やす仕組みです。このシステムのよいところは、雪の表面で空気が冷えるだけでなく、空気中のごみやほこり、有害物質であるニコチン、アンモニア、ホルムアルデヒド（建築資材の接着剤などに含まれる化学物質。アレルギーやがんの原因になる）等を雪が吸着してくれること。空気がきれいになり、同時に消臭効果も生まれます。

冷水循環式は、雪室の冷たい雪どけ水を利用して冷やす仕組みです。直接冷たい水を部屋まで導いて冷やす方式や、循環水である不凍液を雪どけ水で冷やして熱交換させる方式があります。熱交換方式の場合、循環水は熱交換器によって雪どけ水に熱を受け渡し、暖かくなります。それが雪室に戻って雪をゆつくりとかし、冷たい水をつくります。

A、冷たい水で冷えた循環水を冷風に変え、部屋の温度を下げるのです。

自然対流式は、電気をまったく使わないので、経済的にとてもすぐれています。空気循環式と冷水循環式は、冷たさを伝えるのに機械を使うので少し電力が必要になりますが、大規模な施設を安定的に冷やし、好みの温度や湿度に調整することができます。雪冷蔵・雪冷房は、こうしたそれぞれの長をいかしながら、施設のニーズに合わせた方法が選ばれることになります。

効率の低さは助け合いの精神で

雪が①新エネルギーに位置づけられてから、雪冷房を設置する個人住宅も少しずつ増えましたが、実際に導入するには大きな**b**ハドルがあります。費用の問題もあるのですが、雪冷房をするためには大量の雪を夏までとっておく雪室の建設が必要だからです。

たとえば、石油ポリタンク一個分（一八リットル）のエネルギーを雪からとりだそうとすると、電話ボックス二棟分（約二トン）の雪が必要になります。石油なら簡単に持ち運べますが、これほどの雪は持ち運べません。

太陽光など、ほかの自然エネルギーも同じことですが、自然を使いやすいエネルギーに変換するには、効率的な技術と量がどうしても必要です。

B 風力発電は、うちわであおぐくらいの風では、発電量はわずかです。大きな羽を強い風でぐるぐる回さないと大規模な発電はできません。そこで、みんなが知っているあの巨大風車が必要になります。

太陽光発電も小さな太陽光パネルでは発電量が少なくあまり役立ちません。家の屋根くらいの広さがあれば三〜五キロワットの発電ができますが、それが広大な場所に設置するメガソーラー（一〇〇〇キロワット以上）になると効率もよく、発電量が格段に上がります。ただし、天気が悪く太陽光線が少ないときや夜は発電することができません。

それに比べて化石燃料（石油、天然ガスなど）は、太陽光、風力、雪などよりずっと少ない量で、大量のエネルギーが得られます。原子力発電に使われるウランなどは、ひとにぎりの量で小さな町一年分の暖房ができると言えます。ただ、いったん事故が起きて放射能で汚染されれば大変なことになります。

C

石油などの化石燃料も、資源量に限りがあります。

自然エネルギーは効率がよいとはいえませんが、地球環境を傷つけないし、資源量は無尽蔵です。雪冷房をするときも、個人の住宅ではなかなか採算が合いませんが、そこは知恵を使つてうまく工夫すればよいのです。たとえば、ご近所同士で雪室を共同で設置するのはどうでしょうか。夏まで雪をとっておくにはかなりの量が必要ですが、ご近所で協力して除雪作業をおこなえば大変さも軽減されます。

雪国には、昔ながらの「結」の精神が残っています。結とは、秋の稲刈りを手伝い合ったり、屋根の葺き替えを手伝い合ったりする共同作業のこと。ご近所が互いに助け合う精神です。近所にひとつ雪室があれば、雪の捨て場にも困らなくなるし、夏にはみんなの共同冷蔵庫にもなります。

いまの時代は「自分のことは自分で」という自立ばかりが求められますが、②近くにいる人が協力し合い、雪室を楽しみながら普及させていけたらすてきだと思おうのです。

(伊藤親臣『空から宝ものが降ってきた!』より)

問一 左の表は雪で冷やす仕組みについてまとめたものです。(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)にあてはまる言葉を、本文中から抜き出して答えなさい。また、(Ⅳ)にあてはまる「特長・はたらき」を簡潔に答えなさい。

方法名	仕組み	特長・はたらき
方法 1 自然対流式	・雪をためた空間に、食品を保存する。	・食品の(Ⅱ 二字)をふせぐ。 ・電気を使わず(Ⅲ 三字)である。
方法 2 空気循環式	・雪室の冷たい空気を部屋に送る。	・(Ⅳ)。 ・消臭効果。
方法 3 冷水循環式	・雪室の冷たい(Ⅰ 四字)を利用する。	・直接冷やす方式と熱交換方式がある。
		・大規模施設を安定的に冷やす。 ・好みの湿度や温度に調整できる。

問二 線部 a 「スタイル」、b 「ハードル」の意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- 「スタイル」……ア 格好 イ 容姿 ウ 様式 エ 態度
- 「ハードル」……ア 疑問 イ 混乱 ウ 課題 エ 心配

問三

空らん A C

は一度しか使えません。

- ア もし
- イ たとえば
- ウ でも
- エ まるで
- オ また
- カ そして

問四

線部①「新エネルギー」の長所と短所は、それぞれどのようなことですか。解答用紙の書き出しに当たって二十字以上、三十字以内で説明しなさい。

問五

線部②「近くにいる人が協力し合い」について、本文では※「SDGs」に関連することが述べられています。左の表の17の目標のうち、あなたが**近くにいる人たちと協力し合い**、解決や改善のために取り組みたいと考えることを、次の条件にしたがって述べなさい。

書くときの条件

- ① 文章は書き出しに続けて、六十字以上、八十字以内で書きなさい。
 - ・ 一文目……：解答用紙の書き出しにしたがって、表の中の数字と目標を書きなさい。
 - ・ 二文目以降…あなたが**近くにいる人たちと協力し合い**、解決や改善のためにどう取り組むか、具体的に説明しなさい。

段落は変えないこととします。
- ② 文字は濃く、大きく、ていねいに書きなさい。

※「SDGs」…持続可能な開発目標として、2015年国連サミットで採択された、
「2030年までの達成を目指す17の目標」。

(表)



1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学一年生の綿野あみは、「生け花部」で活動している。文化祭の発表内容を決めるクラブのミーティングで、あみは「生け花ショー」をすることを提案した。

生け花ショーのアイディアは、その日の部活でみんなに紹介された。野山先生はおもしろそうだねと目を

A

「ショーをするなら中庭ステージだね」

「中庭ステージ？」

「東校舎と西校舎に挟まれた中庭があるでしょ？ 文化祭の日には、あそこに特設ステージが組み立てられるんだ」

一年生はまだ知らないよね、と野山先生は微笑んだ。

「まず企画書を作って、二学期になったらすぐ郷本先生に渡そう。OKが出れば実現するよ」

「郷本先生!？」

それって閻魔大王じゃん！ 思わずきき返すと、野山先生がつけ加えた。

「郷本先生が文化祭の責任者なんだ」

わたしの頭のなかだけにあったアイディアが閻魔大王に認められるかな。期待も戸惑いも混ざり合ってマールブル模様だ。

「ショーなんてちよっと楽しそう。どんな髪型で出ようかなー」

今日はハーフアップにしているカオ先輩もほめてくれた。

「カオ先輩のおかげで思いついたんです」

「え、何それ？」

不思議そうにしているカオ先輩に、「気にしないでください」とわたしは手を振った。

そして、わたしはカオ先輩から、今日まだ一度も口を開いていない人物に目を移した。
九島さん。

賛成に手を上げてくれたけど、本心は分からない。
状況をjishijouするために必要なこと。それはまずその人を知ることだ。

「ねえ、九島さん、夏休みどこか遊びに行かない？」

その日の帰り道、わたしの急な誘いに、九島さんは目を
無理もない。今まで二人で帰ったこともなかったんだもん。今日、九島さんに一緒に帰ろうと初めて声をかけた。
実況のためには、九島さんの取材も必要だから。

「わたし、明後日から日本にいないから……」

「海外旅行？ いいなあ、わたしなんて外国行ったことないよ。どこ行くの？」

「……ベトナム」

「へえ、ベトナムって暑そうだね。日本も超暑いけど。ベトナムで何するの？」

「……おばあちゃんの家に行くの」

「えっ、九島さんのおばあちゃんってベトナム人なの？」

「……お母さんも」

「九島さん、ハーフだったの!? 知らなかった」

「……特に、誰にも言っていないから」

『驚きの事実がここに判明です。今まじまじと見つめてみると……』

わたしより小柄でボブヘア。濃いまつ毛で黒い瞳。ひかえめな鼻。肌はやや白めです。

たとえ目の前で生春巻きを食べなくてもベトナム人とのハーフだと気づかなかったでしょう』

「九島さんって、下の名前何だっけ」

『わーバカ！ 綿野あみ、痛恨のミス！』

同じ部活なのにフルネームも覚えてないなんて、しかもそれを本人にきいちゃうなんて……大、失、敗』

「麻衣。九島麻衣」

「へえ、日本の名前なんだね」

九島さんがふつうの調子で答えてくれたことに胸をなで下ろす。

「マイは、ベトナムの花の名前なの。テトのところに咲く黄色い花」

「テトって？」

「旧正月のこと……」

わたしはどこかで聞いた記憶を手繰り寄せる。旧正月は、確か一月後半とか二月くらいにある、昔の暦のお正月だ。

「そうなんだ。明後日からベトナムなら、明日遊ぼうよ。どこか行きたい場所ある？ この駅の近くのショッピングモールとか、ゲーセンとか」

「……………」

① 難しい顔で黙り込んでしまった。

「あー、ごめん。旅行の準備とかあるよね、明日なんて急だったかな」

あきらめかけたわたしは、あることをふっと思いついた。※七夕の準備のときのこと。

ダメもとで試してみよう！

「九島さん、カラオケは？」

その単語を聞いて、九島さんの表情がぱっと変わった。

「……行く」

「うん、行こう行こう、カラオケ」

『やった！』

取材の約束、成功です。

九島麻衣、やっぱりカラオケ好きでした。

さあ、ここで連絡先交換と思いきや？ おっと、九島さんスマホを持っていませんでした。

イエ電の番号をメモしてくれている九島さん。当日はどんな歌を聴かせてくれるのでしょうか』

もちろん実況のための情報収集なんだけど、何だかわたしは九島さんのことをもっと知りたくなってきていた。

「いええーいっ！」

『こちらカラオケポンポンの三〇八号室です！ ご覧ください、信じられない光景が目の前に広がっています。

ベトナム生まれのヤマトナデシコ九島麻衣、ソファの上で熱唱です。

その隣、楽しみにマラカスを振っているのは、何と九島さんのお母さんです。

②まさかまさかお母さんがついてくるとは！ 中一だけのカラオケが、よっぽど心配だったのでしょか』

途中、九島さんがトイレに席を立ったとき、

「あみちゃん、ありがとうね」

蛍光塗料けいこうとりょうが光る部屋で、九島さんのお母さんがふと真顔になった。

「何がですか？」

「麻衣は小学校に上がるまで、父親の仕事でベトナムに住んだの。私たち両親とおばあちゃんの四人で。麻衣はおばあちゃん子だから、日本語よりベトナム語のほうが得意だった。日本の学校に入ったとき、日本語がなまってるっていじめられて、小学校ではほとん

どしゃべらなかつたの。だから、中学でお友達ができてよかつた」

大学時代、日本に留学していたというお母さんは、なめらかな日本語でそう言った。

「今日一緒に来たのは、お礼が言いたかつたの。麻衣と友達になってくれてありがとう。これからもよろしくね」

「いや、そんな……」

『綿野あみ、お礼を言われるようなことはしていません。』

実況の取材で誘っただけなのに。純粹な友達じゃない。ほんのりとした後ろめたさを感じます……』

カラオケを出した後、「二人で甘いものでも食べていったら」と九島さんのお母さんがくれたおこづかいで、ドーナツショップに入った。

「九島さんってほんとに歌がうまいね！ビックリした」

「ううん、そんなことない。歌うの好きなだけだよ。お母さんまで一緒に来ちゃってすごく恥ずかしい」

『九島さん、自分で気づいているでしょうか。』

学校ではほとんど単語しか話さなかつたのに、カラオケから出てきた九島さんは、ふつうに話してくれています

「そんなに歌がうまいなら合唱部とか軽音楽部でもやっていけそう。どうして生け花部に入ったの？」

取材を兼ねてきいてみると、

「……………」

う、沈黙。何か別の質問にしなきゃと焦っていると、九島さんが小さな声で答えた。

「……しゃべらなくてすむから」

九島さんは目を **C** まま、ジュースのストローの袋を小さく折りたたみながら言った。

ああ、そうか。九島さんのお母さんの言葉が耳元で蘇った。

「九島さん、全然なまってないよ。小学校のころはどうだったか分からないけど、今しゃべってる発音は全然変じゃない」

本心だった。九島さん本人がなままっていると感じるならきつと気のせいだ。

「……ほんと？」

「ほんと！」

③ わたしは気づかないうちに前のめりになっていた。もう実況のためだけじゃない。

「もっと聞かせて。マイちゃんの話。もっと知りたい」

思わず名前で呼んでしまった。何だか熱すぎて引かれてしまったかな。そう思っていると、テーブルにポタツとしずくが落ちた。

「……ありがとう」

目をごしごしとこすりながら、マイちゃんがつぶやいた。

「綿野さんたちが話してるの、楽しそうだなって思ってた。でも勇気なくて。……ほんとは、わたしもしやべりたかった」

なみだめ
涙目で微笑むマイちゃんは、水が上がった花みたいにうるおって見えた。

ただの大人しい子だと思ってた。包み隠さず言えば、ただの暗い子だと思ってた。

カオ先輩とばかりしゃべっていたわたしは、マイちゃんが黙っている理由なんて考えたことがなかった。

ごめん。マイちゃん。

④ 「ただの」の一言で片づけられる人なんていないのかもしれない。

(こまつあやこ『ハジメテヒラク』より)

※七夕の準備のときのこと…七夕の準備中に九島さんが歌を口ずさんでいるのをあみは聞いていた。

問一

空らん A }

C

にあてはまる最も適切な言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号は一度しか使えません。

- ア 丸くした
- イ 配った
- ウ 伏ふせた
- エ まわした
- オ 輝かがやかせた

問二

線部①「難しい顔で黙り込んでしまった」とありますが、このときの九島さんの心情を説明した次の文の（ ）にあてはまる表現を二十字程度で答えなさい。

一緒に遊びに行ったら会話をしなければならず、（ ） **二十字程度** （ ）が嫌いやだったから。

問三

線部②「まさかまさかお母さんがついてくるとは！」とありますが、このときのあみの心情として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分たちが九島さんのお母さんに信用されていないことを知って、悲しい気持ちになっている。
- イ 中学一年生になってもカラオケについてくる九島さんのお母さんの過保護ぶりにおどろいている。
- ウ 中学一年生だけでカラオケに行くことは許されないことだと気づき、気まずい気分になっている。
- エ カラオケについてくるほどお母さんに大切にされている九島さんをうらやましく思っている。

問四

線部の「主語（主部）」と「述語（述部）」にあたる部分を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

「^ア大学時代、^イ日本に^ウ留学していたという^エお母さんは、^オなめらかな^カ日本語で^キそう言った。」

問五

線部③「わたしは気づかないうちに前のめりになっていた」とありますが、このときのあみの心情として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 小学校のころの九島さんのつらかった体験話を聞いて、二度と彼女に悲しい思いはさせないと強く決意している。
- イ 自分の言葉を素直に受け取らない九島さんがいらだたく、何とかして自分の言葉を信じさせようとしている。
- ウ 小学校のころにつらい思いを経験した九島さんに同情し、どのようにしたらなぐさめられるかなやんでいる。
- エ 九島さんのこれまでの体験を知り、九島さんに強い関心を持ち、もっと親しい関係になりたいと思っている。

問六

線部④『ただの』の一言で片づけられる人』について、あとの問いに答えなさい。

(i) 本文中から九島さんを『ただの』一言で片づけている」表現を、二つ抜き出して答えなさい。

(ii) 実際の九島さんほどのような人だといえるでしょうか。本文中の表現を使って、二十字以上三十字以内で説明しなさい。

問七 本文の表現に関して、次の問いに答えなさい。

(i) 本文中の**太字の『会話』**部分は、本文中では何と表現されていますか。抜き出して答えなさい。

(ii) 本文に関する説明として合っているものには○、間違っているもの(本文中に記述がないもの)には×を答えなさい。

1 本文の途中に、過去のできごとが述べられていて、あみと九島さんの人間関係がわかりやすくなるようにしている。

2 「**太字の『会話』**」は、あみの気持ちそのまま表現されており、それによって他の登場人物たちの気持ちも分かりやすく読み取れるようになっていく。

3 呼び方が途中から「九島さん」から「マイちゃん」に変化しているのは、あみの九島さんに対する親近感が増していることを表している。

4 「涙目なみだめで微笑むマイちゃんは、水が上がった花みたいにうるおって見えた。」とあるが、これは九島さんの強いよろこびの気持ちを表している。

四

次の言葉を例にならってローマ字（ヘボン式）に直して答えなさい。なお、書き出しはすべて小文字とします。

- ① バッタ
- ② 糸瓜（ヘチマ）
- ③ 社会（しゃかい）
- ④ 不思議（ふしぎ）
- ⑤ 座布団（ざぶとん）

例 盈進（えいしん）

eishin